

# 三小タイムズ

令和2年10月29日発行 校長 辻 久恵

## タブレットの活用（2年生）

担任とICT支援員さんがタブレットを活用した授業を行っていました。

一人一台ずつタブレットを持って2年生が図形の学習をしている様子です。

子どもたちは覚えるのが、とても速いです。



## タブレット研修（教職員）

ICT担当職員とICT支援員さんが中心になってタブレット研修を行いました。

本校は2学期に70台のタブレットが導入されました。日々授業で活用されています。3学期には、一人一台のタブレットが導入される予定です。子どもたちが学習者用端末を、学校や家庭での学習の場で文具と同じように日常的に使うことができるよう、活用を促していく必要があります。ひいては、個別最適化された学びにより「資質・能力を一層確実に育成」「すべての子どもたちに学びを保障」へと辿り着くことを目指しています。

研修は、まず、これからのオンライン学習の見通しとして児童一人一台タブレット導入に伴うグループウェア運用—調布市で運用される「G Suite for Education」「Microsoft Teams」と実践事例資料について行われました。次に、プログラミング教育で使用する導入済みツールについて、「viscuit」と学習における使用例、「ソビーゴ」の概要と操作体験へと進んでいきました。

授業で活用できるように、教職員は熱心に研修に参加していました。



※プログラミング教育実施にあたって本校で使用できるツールの活用

アンプラグド (学習の計画づくり)	タブレット等の機器を用いらずにプログラミング的思考を学ぶ
Viscuit	手書き絵の組み合わせでプログラム体験ができる
ソビーゴ スクラッチ	プログラムにおける複雑なコマンドを覚えることなく記号化されたコマンドを組み合わせでプログラム体験ができる
Mesh	センサーで状態を確認し、電気部品を動かせる簡単なプログラミングで「しくみ」がつかれる

